



平成24年3月8日

各位

会社名 **ネツレン**

高周波熱錬株式会社

代表者名 代表取締役社長 福原 哲一

(コード番号 5976 東証第1部)

問合せ先 管理本部 副本部長

安川 知克

(TEL. 03-3443-5441)

ネツレングループ 第12次中期経営計画

「Global Challenge 30」の策定について

1. 趣旨

ネツレングループは、これまでIH熱処理技術を基本として、たゆまぬ自己変革に努め、常に成長する企業グループを目指してまいりました。

平成24年(2012年)3月に終了する第11次中期経営計画「革新への挑戦と飛躍・65」におきましては、分科会活動を含む経営改革プロジェクトの推進により、成長戦略の遂行、事業基盤の強化、高効率化の追求、人財の確保と育成に取り組み、わが国を取り巻く厳しい経営環境の中、全社一丸となって目標達成に注力してまいりました。

第12次中期経営計画の基本方針は、第11次中期経営計画からの成長戦略を継承し、将来の成長、事業拡大に向けての基盤づくりを行いつつ、飛躍的な発展を目指しグローバル展開に果敢に挑戦することとし、企業発展の礎となる人財の確保と育成を最重要課題と位置付け取り組んでまいります。

2. スローガン

第12次中期経営計画では、海外売上高比率を現状より倍増の30%とする目標を掲げ、その達成に向けて果敢に挑戦する意味を込めて「Global Challenge 30」とネーミングしました。

3. 対象期間

平成24年(2012年)4月より平成27年(2015年)3月までの3カ年計画

4. 対象会社

当社および連結対象グループ会社

5. 連結経営目標

	平成24年3月期 (平成24年2月3日時点 予想)	平成27年3月期 目標	増減率
売上高	460億円	600億円以上	30%
うち海外売上高比率	—	30%以上	—
営業利益	43億円	60億円以上	40%
営業利益率	9.3%	10%以上	—
ROA (総資産経常利益率)	—	9%以上	—
ROE (株主資本純利益率)	—	8%以上	—

6. 中期経営方針

(1) 中期経営基本方針

- ①成長戦略を継承し、将来の成長、事業拡大に向けての基盤づくりを行う。
- ②飛躍的な発展をするためにグローバル展開に果敢に挑戦する。
- ③人財の確保と育成は最重要課題とする。

(2) 中期経営方針3つの柱

- ①成長戦略の遂行と基盤づくり
- ②グローバル事業の展開
- ③人財の確保と育成

7. 第12次中期経営計画の課題

(1) 成長戦略の遂行と基盤づくり

- ①新商品・新事業の育成と実現
- ②既存事業の収益性改善
- ③関東地区受託加工の整備
- ④生産革新活動の推進による生産性の向上
- ⑤さらなる原価低減の強化推進
- ⑥多重周波を用いた熱処理モデルの構築
- ⑦誘導加熱コイル製造技術のレベルアップ
- ⑧省エネの推進とCO₂削減

(2) グローバル事業の展開

- ①海外売上高比率30%以上
- ②中国事業の拡大 既存事業の売上高倍増
- ③高周波熱錬(中国)軸承有限公司の生産体制の確立
- ④ITW新事業モデル確立
- ⑤海外での新たな受託加工の可能性検討

(3) 人財の確保と育成

- ①総合的人財マネジメントシステムの構築
- ②人的資源への積極投資
- ③次世代リーダー・グローバル人財の育成

以上

(注) 当資料に記載した連結経営目標等の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した計画であり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記連結経営目標等の数値と異なる場合があります。